

PWB垂直連続搬送式電気銅めっき装置

Ucon-Jr

【装置原理】

従来のプッシャー方式ですが、特にPWB電気めっき用途に当社が開発しためっき機構部の構造及びPWB又は治具間の隙間を最小限に制御し、連続搬送を行うことを特徴とした搬送装置です。

【特徴】

- 銅めっき槽内をPWBが連続移動し、めっき処理するので、全てのPWBの膜厚が均一にできる。
- めっき槽が1つなので、めっき液管理（濃度、温度等）が容易に行える。
- 槽内ガイド構造によりアノードとPWBの平行が保たれる為、PWB表裏のばらつきが少ない。
- PWB上部を直接クランプし0.1mmまでの薄板に対応。
- PWB高さ方向のめっき膜厚コントロールは、PWB下端の遮蔽板を制御することで行える。

- ロード部でPWBサイズを検知し、進行方向にあわせて上部クランプ位置を自動調整する。
- 作業環境の向上
- アノードボールの補給が容易
- 摺動レールを槽の側面に配置する事で、めっき液中への異物落下がなく高品位PWBに対応。
- 装置の構造が単純なので故障が少ない。
- パターン銅めっき、電気Ni-Auめっき等に対応が可能。

ウエムラは薬品メーカーとしてのノウハウを反映させた、キャリア、エレベータタイプ等の様々な搬送装置を手掛けており、多様なご要望に対応する事ができます。

